

REVO TORO ROCKET

取扱説明書

このたびはアブ・ガルシアREVO TORO ROCKETシリーズをお買い上げいただきありがとうございます。
アブ・ガルシアリールは50年以上もの間、高品質、高機能、高耐久性のリールの代名詞として知られ、今日でも、トーナメントサーキットを転戦するバスプロ、記録を目指すエキスパート、フィッシングガイドなど、世界中のトップアングラーに選ばれています。
本機種の性能を十分に引き出し、あなたの釣りを楽しいものにするために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。またこの取扱説明書は大切に保管してくださいますよう、お願い申し上げます。

●各部の名称



※写真は右ハンドル仕様です。

●仕様一覧表

製品名	標準自重 (g)	最大ドラグ (kg)	ギア比	最大ライン巻取 (cm/ハンドル回転)	ペアリング入数 (ボールベアリング/ローラーベアリング)
REVO TORO ROCKET	414	12	7.6:1	107	5/1

●ラインキャパシティ

糸の種類	スーパーファイアーライン						PEライン					
	1号	1.2号	1.5号	2号	2.5号	3号	4号	3号	4号	5号	6号	8号
糸巻量	1200	1000	800	600	500	400	300	350	270	200	170	120

糸の種類	ナイロンライン					
	3号	4号	5号	6号	7号	8号
直径	0.285mm	0.330mm	0.370mm	0.405mm	0.435mm	0.470mm
糸巻量	390	291	232	190	168	144

※最大ライン巻取について：最大ライン巻取はスプール径からの計算値によってハンドル1回転あたりのライン最大巻取長を表示しております。

※ラインキャパシティについて：糸巻量は使用する各社ラインによって誤差が生じます。また、ラインを巻取るテンションによつても変化します。実釣においてはスプール径目一杯に巻くことはないため、上記の糸巻量は目安としてください。

※製品の各仕様・デザイン・価格については、改良等のため予告なく変更する場合があります。

●インフィニブレーキシステム調整方法及びスプール交換方法

※スプール交換（1~3まで）

遠心力ブレーキシステムと高性能マグネットブレーキを複合させたインフィニブレーキシステム。飛距離の出る遠心力ブレーキのメリットと、安定したサミングをサポートしラインの浮き上がりをなくすことでロングキャスティングを可能にするマグネットブレーキのメリットを融合しました。向かい風のときはマグネットブレーキを強めに、反対に追い風のときは弱めにと、フィールドのコンディションにあわせて設定することで、思い通りのキャストを行うことができます。



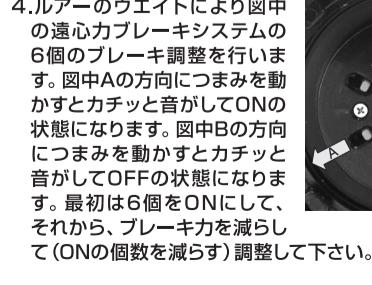
1.ハンドル側のサイドプレート上部にあるカムロックを反時計回りにまわしてはします。



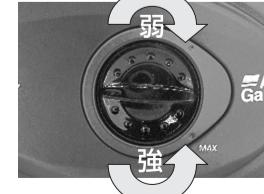
2.カムロックを外側に引きながらサイドプレートの前方を上側にスライドさせるとサイドプレートが外れます。



3.スプールが取り外せる状態です。
※この状態でスプール交換できます。



4.ルアーのウエイトにより図中の遠心力ブレーキシステムの6個のブレーキ調整を行います。図中Aの方向につまみを動かすとカチッと音がしてONの状態になります。図中Bの方向につまみを動かすとカチッと音がしてOFFの状態になります。最初は6個をONにして、それから、ブレーキ力を減らして(ONの個数を減らす)調整して下さい。



5.マグネットブレーキの調整はフィールドのコンディションで変えます。追い風のときは弱く向かい風のときは強く(MAX方向)マグダイヤルを調整します。

安全上の注意 ご使用前に必ずお読みください。

注 意	
	●糸をリードするレベルワインドの所に指を近づけて、釣りをしないでください。指をはさまれてけがをするおそれがあります。
	●ハンドルとボディの間に手をはさむと、けがをするおそれがあります。
	●糸が勢いよく出ている時は、糸にぶれないでください。糸で指を切るおそれがあります。
	●心臓ベースメーカー等の電子医療機器を装着した人は磁石を取り扱わないでください。
	●磁石を誤って飲み込むと、生命に関わる場合があります。小さいお子様の手の届かない場所に保管ください。万が一飲み込んだ場合は至急医師の診断を受けてください。
	●磁石と磁石または他金属等の磁性体の間には非常に強い吸着力があります。急激に吸着し跳ねたりしますので眼鏡等を利用し保護して取り扱ってください。
	●磁石を磁気テープ、磁気カード、その他記憶媒体、時計、電子機器に近づけないでください。故障やデータ破壊の危険があります。
	●回転しているスプールには触れないでください。けがをするおそれがあります。

ピュア・フィッシング・ジャパン株式会社

〒135-0042 東京都江東区木場2-15-12 MAビル

TEL 03-6860-5180



●その他の注意点

- ・根掛かりした時は竿やリールで無理にあおらないで、手に手袋やタオルをつけて巻きつけ切るようにして下さい。
- ・リールの回転部にはグリスや油がついていますので、衣類を汚さないように注意して下さい。
- ・リールを釣り以外の目的で使用しないで下さい。
- ・サムバークラッチを押したままハンドルを回転させないで下さい。故障の原因となります。
- ・内部部品にはエッジ等がありますので手を切らないよう注意して下さい。

●保管について

- ・濡れたままや、湿度の高い状態や温度の高い状態で長時間保管しないで下さい。(車内や道具箱等)
- ・水分をよくふきとり陰干しした後、しっかりと乾燥させて下さい。
- ・必ず竿から外した状態で保管して下さい。

●メンテナンス

リールは精密機械なので定期的なメンテナンスが必要です。つねに最良の状態で使用するためには、使用後必ず清掃と注油をしなくてはなりません。淡水で使用された場合は汚れを布で拭き取り、注油する程度で十分です。海水での使用後に塩分等洗う場合は水道の水を流しながらリールの表面に付着した砂、汚れなどをサッと洗い落とします。その際、ドラグ、ギアなどが収められているリール本体に絶対に水が入らないように注意してください。洗った後は十分に乾燥させ、下図の位置にオイルやグリスをさします。以上はあくまで、日常行なっていただく最低限のメンテナンスです。シーズンに一度は分解して洗浄・注油をするオーバーホールが必要です。オーバーホール・修理はピュア・フィッシング・ジャパン・リペアセンターにて承っております。内部は非常に複雑な構造な為、弊社でのオーバーホールをお勧めいたします。

メカニカルブレーキ部



ハンドルノブ



レベルワインドシャフト部



カムロック部



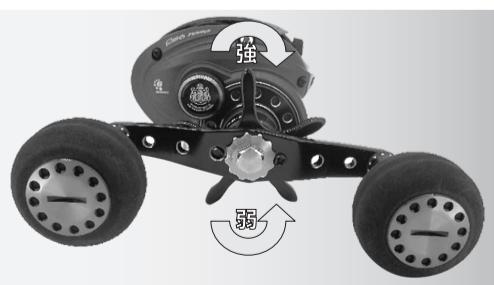
カムロックネジ部

●メカニカルブレーキ操作方法



ノブを強く締めるとスプールの左右のガタが無くなりスプールにブレーキ力が発生します。ノブを弱く緩めるとスプールフリーが向上します。通常はスプールの左右のガタが無くなる程度に調整します。

●ドラグ調整方法



ドラグとは、魚が強く引いたときにラインを切られないように魚の引く力に合わせてラインをスムーズに送り出すシステムです。正確にドラグを調整するには「バネばかり」を使用すると良いでしょう。

- ・ドラグホイールを回転させてドラグ力を調整を行います。
- ・まずリールを取り付け、ラインをロッドのガイドに通してからラインをバネばかりに結びます。ラインの強度の限界点に達する前にドラグが滑り出します。ドラグはライン強度の1/3をばかりの目盛りがさした時に滑り出します。ライン強度の1/3に設定する方法は一般的な目安ですので、対象魚や釣り場の状況に合せて調整してください。ドラグが弱すぎると確実なフックセット(アワセ)が出来ませんし、強すぎると魚の強烈な引きにラインブレイクしてしまいます。(ライン強度テスト値の1/2以上の強さに調整すると、ラインブレイクする恐れがあります。)※左ハンドルは強弱の回転方向が逆です。